

国魂神社祭礼

開催時期 節分追儺祭：2月3日の直前の日曜日
例祭（ドブロク祭り）：10月（スポーツの日）

会場 国魂神社



国魂神社は勿来町窪田馬場に所在しており、開祖は大同元年（806）、出雲大社から勧請されたものと伝えられています。

その後、戦国時代初めには窪田家が窪田地内に居を構え、支配地窪田郷の総鎮守社として国魂大明神を敬り、大永元年（1521）には同社に梵鐘（昭和57年3月に市有形文化財〔工芸品〕に指定）を寄進しています。（窪田家は戦国時代末期に岩城家の支配下に移行）

節分に当たる「節分追儺祭」は2月3日前後の日曜日に行われます。宮司が本殿で神事を行い、厄を払った後、3本の矢を高々と放ちます。その後、鐘楼前の特設ステージでは氏子や地域の役員、年男などが袷姿で縁起物の豆のほか福銭や菓子などがまかれます。





国魂神社の例祭は毎年10月の「体育の日」(かつては10月19日)に行われます。

まず本殿で巫女姿の小学校女兒による「浦安の舞」を披露。その後、神社総代や役員、稚児行列を先頭に神輿が窪田市街を渡御します。さらに、神田で収獲したコメを使ったドブロクの粕と鮭の身を地区役員で捕り合う「粕搗み神事」を奉納します。戦国時代の窪田藩時代から続けられていたことから秋の祭礼を別称「ドブロク祭り」とも呼んでいます。

このほか、長持ち奉納、剣道大会、福引抽選会など多彩な催しも行われ、祭礼日は1日中、大勢の地域住民でにぎわいます。



お問い合わせ

国魂神社

TEL : 0246 - 65 - 2384

ウェブサイト : <http://www.kunitamajinja.com>

住所 : 福島県いわき市勿来町窪田馬場 72

